

宝塚市環境基本方針（案）

1 基本理念

宝塚市は、六甲、北摂の山なみ、武庫川の流れ、北部の田園風景に象徴される豊かな自然に恵まれた美しいまちです。一方、今日、地球温暖化による気候変動や海洋プラスチック汚染など地球規模の環境問題が深刻になってきています。

これらの問題は人の生活や事業活動によるものとされ、世界では、SDGsの達成や脱炭素社会の実現を目指す潮流が加速しています。

宝塚市においても、本市のすばらしい環境を将来世代へ引き継ぐため、環境を行政運営における重要な要素の一つと位置付け、すべての事務事業において、環境に配慮して行動し、持続可能なまちづくりを進めます。

2 基本方針

宝塚市は、次の方針に基づいて基本理念の実現に取り組めます。

- (1) 環境マネジメントシステムの運営管理により、組織的、継続的にすべての事務事業において、省エネルギー・省資源を進め、環境負荷を低減します。
- (2) 宝塚市公共施設等総合管理計画や宝塚市公共建築物への再生可能エネルギー導入ガイドラインに基づき、公共施設の省エネルギー化、再生可能エネルギー導入を進めます。
- (3) 脱炭素化、循環型都市の構築に向けて、環境に配慮した施策を実施するとともに、市民や事業者と協働し、持続可能なまちづくりを推進します。
- (4) 環境に関する法令、条例、協定等を遵守し、環境保全に努めます。
- (5) 職員一人ひとりが環境に対して、自覚を持ち、自ら考え、積極的に実行できるよう、職員の環境意識向上のための研修を行います。

令和4年 月 日

宝塚市長 山崎 晴恵

宝塚市環境基本方針

1 基本理念

宝塚市は、第5次宝塚市総合計画で掲げる「市民の力が輝く 共生のまち 宝塚」の実現を環境面から推進するために、環境を行政運営における重要な要素の1つとして位置づけ、すべての事務事業において、環境に配慮して行動します。

このため、次に掲げる事項を基本方針とし、不断の努力をもって遂行します。

2 基本方針

宝塚市は、次の方針に基づいて基本理念の実現に取り組みます。

(1) 環境意識の変革 ～配慮から行動へ～

職員一人ひとりが環境に対して、自覚を持ち、自ら考え、計画し、積極的に実行できるよう、2つのPDCAを軸に職員の意識向上に努めます。

P Plan	(計画)	P Positive	(積極的)
D Do	(実行)	D Develop	(向上)
C Check	(確認)	C Consciously	(自覚)
A Action	(見直し)	A Autonomous	(自律)

(2) 環境を支える基盤づくり

行政内部での環境情報の共有、その効果の見える化によって環境コミュニケーションを活性化させ、組織の枠にとらわれず、迅速に課題に対応できる組織づくりを行います。

また、環境配慮を効果的に行うために必要な資源を確保します。

(3) エコロジーとエコノミーの調和

環境とコストの関係について正しい理解が得られるよう啓発に努めるとともに、常にトータルコストを意識して判断します。また、自治体の責務として、環境を優先して取り組むべき施策においても、コストに留意しつつ取り組みます。

平成 24年 4月 1日

宝塚市長

中川 智子